

市町村名		東村				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-③	東村企業研修プログラム構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(イ)	
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成	
事業内容	村民の森つづエコパーク(以下「園」という。)に設置されているPA(プロジェクトアドベンチャー)は集団における仲間意識、協力体制の形成に資するコンテンツであり、企業研修向けに商品開発し、県内外の企業へ販売を行う。それにより園内各施設の利用者または園周辺の宿泊施設や特産品販売施設等の利用者の増加が期待され、地元循環型の経済振興を図る。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	4,100	4,471	7,535	
	(b)予算現額	3,888	3,942	7,304		
	(c)増減額(b-a)	▲212	▲529	▲231		
	(d)繰越額	-	-	-		
	A.計(b+d)	3,888	3,942	7,304		
	B.執行済額	3,715	3,942	7,304		
	うち交付金充当額	2,972	3,153	5,843		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	95.6%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	入札残等の231千円は事業間流用に伴い減額した。事業計画どおりに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	モニターツアーの実施	目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施			
	PRツール作成	目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施			
プロモーション	目標	(実施)	()	()	()	
	実績	実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 前年度作成したプログラムを基に県内3社、県外3社、計6社を対象にモニターツアーを実施。各モニターツアーの実施後、課題を抽出し作業部会を開催しプログラム内容のブラッシュアップに繋がった。 県外へのプロモーションを行うため、県内1、県外2カ所で商談会を実施。それに先んじて作成した商品(プログラム)を紹介するためのPRツールを制作した。商談会ではプレゼン、面談をとおりて企業ニーズ等情報収集を行い営業強化に繋がった。 モデルプログラムの内容や進め方を学ぶためキーパーソンを招聘しファシリテーターとしてのスキルアップを図りプログラムの質の向上に繋がった。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
		目標	()	()	(報告書作成)	()
	実績			報告書作成完了		
	【R2成果目標】年間企業研修 10社以上	目標	()	()	()	()
実績						10社
進捗状況説明	モニターツアーの効果検証、ファシリテーターの養成、商談会用PRツールの作成、県外商談会での課題抽出、検討委員会での検討内容及び課題を取りまとめた。					

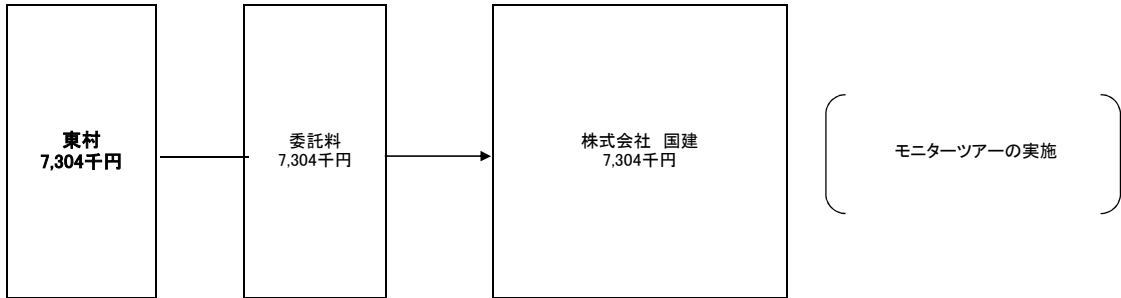
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動や商談会等でのプレゼンテーションの経験が乏しく、積極的な情報発信へつながらず、モニターツアー商品などの知名度、認知度が低い。 ・受付業務にかかるコスト及び時間の効率化や荒天時におけるプログラム実施不可への対応が課題となっている。 ・プログラムの継続的な利用と満足度向上へつなげるために、ファシリテーターの育成が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品等の認知度向上へ向けた情報発信と、商談機会での積極的なプレゼンテーション実施による販路拡大が必要である。 ・受入態勢の効率化のため、HP等での予約システムや荒天時におけるバックアッププログラムの構築が必要である。 ・プログラムの質を向上するためにファシリテーターの技術向上が必要である。

今後の取り組み方針

- ・営業ノウハウ構築のため積極的な営業活動や商談会を継続的に実施する。
- ・予約システムや荒天時のバックアッププログラムの構築等受入機能強化を図る。
- ・作業部会を引き続き運営し、人材育成及びファシリテーション技術向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
7,304	7,304	5,843	1,461	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。また、事業費の算定は事業内容を示し3社見積により積算したことから適正に執行できたと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		東村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-(ア)	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成	
事業内容	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	10,149	10,666	14,502	14,667	10,786
	(b) 予算現額	10,149	7,991	11,088	7,829	9,888	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 2,675	▲ 3,414	▲ 6,838	▲ 898	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	10,149	7,991	11,088	7,829	9,888	
	B. 執行済額	7,580	7,991	10,813	7,400	6,651	
	うち交付金充当額	5,572	6,393	8,651	5,920	5,321	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	74.7%	100.0%	97.5%	94.5%	67.3%	
予算の状況の説明	当初は小学校・中学校へ各3名の配置計画であったが、小学校において配置を予定していた児童の村外への転出により、小学校への配置人員を1名減。小学校へ2名、中学校へ3名を配置。減となった人件費を12月に減額。当初計画では3月末の事業完了を予定していたが、コロナウィルス感染症対策による休校期間があり、2月末での事業完了としたため、執行率が減少した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	小学校へ3名、中学校へ3名の特別支援教育支援員を配置する	目標	(小学校4名配置 中学校2名配置)	(小学校5名配置 中学校3名配置)	(小学校4名配置 中学校3名配置 幼稚園1名配置)	(小学校3名配置 中学校3名配置)	
		実績	小学校3名配置 中学校3名配置	小学校4名配置 中学校3名配置	小学校4名配置 中学校3名配置 幼稚園1名配置	小学校2名配置 中学校3名配置	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初は小学校・中学校へ各3名、計6名(12ヶ月)の特別支援教育支援員配置を予定していたが、小学校において配置を予定していた児童の村外転出により、小学校への配置人員を1名減とし、小学校へ2名、中学校へ3名を配置した。3月にコロナウィルス感染症対策による休校期間があったため、事業完了を2月末までの11ヶ月とした。特別支援教育支援員と教職員が連携を図り、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行うことにより、適切な学習環境の保持ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	支援員に対する満足度(80%以上)	目標	()	(80%)	(80%)	()	()
		実績		80%	100%		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	支援対象児童生徒の保護者(6名)に対しアンケートを実施、3名からの回答を得た(回収率50%)。特別支援教育支援員の対応に満足しているかの問いに対し、とても満足33%、満足している67%の回答が得られた。保護者からは「本人に合った支援が受けられていて勉強も進んで頑張っている」、「解らないところは(そのままにせず)聞く、ということができるようになった」、「勉強した成果が出てきて、本人の自信になっている様子が見られた」等の意見があった。					

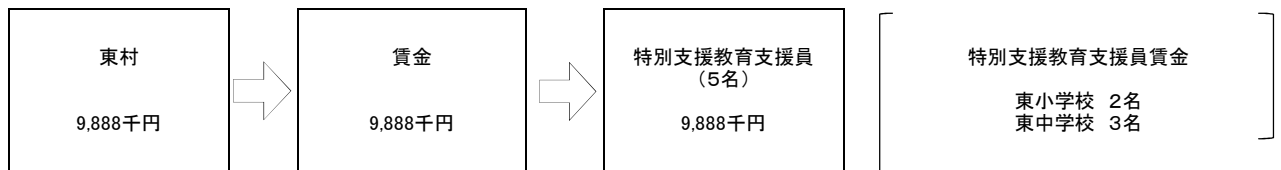
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員による授業中のサポート、見守り支援、個別での課題(家庭学習)作成、放課後の補講などにより支援員配置の満足度は達成できた。 ・支援を要する幼児児童生徒の成長に合わせたニーズを把握することが必要である。 ・一人ひとりにあった支援の技術向上のための特別教育支援員の研修体制が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する幼児児童生徒一人ひとりに合った支援体制を構築していくため、臨床心理士による巡回相談のあり方を見直す必要がある。 ・特別支援教育支援員研修会を今後も継続し、資質向上を図る必要がある。

今後の取り組み方針

- ・臨床心理士による巡回相談後に、学級担任・特別支援教育コーディネーター等との面談・情報提供を行い、支援体制を構築する。
- ・特別支援教育支援員研修会において、臨床心理士・指導主事からのアドバイス・情報提供を活用し、特別支援教育支援員の資質向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,888	6,651	5,321	1,330	3,237



資金の流点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、支援員は応募者を面接により選定し、「東村嘱託員に関する規定」に基づき任用しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模において、予算範囲内で執行できており、事業内容に見合った適正な規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、支出等に関する書類により確認、適正である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	避難経路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備した。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000	37,000			
		(b) 予算現額	5,616	31,384			
		(c) 増減額(b-a)	▲384	▲5,616			
		(d) 繰越額	-	0			
		A. 計(b+d)	5,616	31,384			
		B. 執行済額	5,616	31,384			
		うち交付金充当額	4,492	25,107			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	入札残により3,000千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	避難経路整備実施設計 (測量業務、設計業務)	目標	(実施設計書の作成)	()	()	()	
		実績	実施設計書の作成完了				
	避難経路の整備 (施設概要) 避難経路(幅2m程度、延長70m程度)	目標	(避難経路の整備)	(避難経路の整備完了)	()	()	
実績			避難経路の整備完了				
達成状況説明	幅2.1m、延長66.7mの避難経路を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	避難経路の整備完了	目標	()	(避難経路の整備完了)	()	()	()
		実績		避難経路の整備完了			
	【参考指標】 避難訓練の実施	目標	()	()	()	()	(1回/年)
		実績					
進捗状況説明	避難経路の整備を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・避難経路整備完了に伴い、防災マップの見直し及び地域住民への周知が必要である。</p>	<p>・避難経路整備完了に伴い、防災マップの見直し及び地域住民への周知方法を検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・避難経路整備完了に伴い、防災マップの見直し及び避難訓練を1回/年実施する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	31,384	31,384	25,107	6,277	0
東村 31,384千円	委託料 2,420千円	有限会社国誠測量設計 2,420千円	川田避難路整備工事監理業務		
	工事費 28,964千円	有限会社田場組 28,964千円	川田避難路整備工事		

資金の流点検、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流点検、費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札で選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額は無く、適正な規模であった。 ○費目、用途については完了検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	東村海外移住者子弟研修生受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成25~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-7		
事業内容	南米2カ国(ブラジル、アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)が、村民及び県民との交流を通じて、本村の移住先国との友好親善、沖縄文化の振興に貢献しうる人材の育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		4,152			5,848
		(b) 予算現額		3,507			4,620
		(c) 増減額(b-a)		▲ 645			▲ 1,228
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)		3,507			4,620
		B. 執行済額		3,507			4,620
		うち交付金充当額		2,806			2,774
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)		100.0%			100.0%
	予算の状況の説明	・日本語講師手当、研修生の旅費					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	研修生受入 4人	目標	(4人)	()	()	(4人)	
		実績	4人			4人	
	染め物(紅型)や沖縄料理、方言等の沖縄文化を学ぶとともに、村民及び県民との交流実施	目標	(沖縄文化学習等の実施)	()	()	(沖縄文化学習の実施 村民との交)	
実績		沖縄文化学習等の実施			沖縄文化学習の実施 地域行事への参加		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語、日本文化研修、ウチナー三線、古武道の研修を共通で行い、研修の実施要綱に基づく研修内容を実施した。日本語研修講師として、アルゼンチンで活動経験や村人会との交流のある講師を招聘し、前回よりも時間を増やし、更に充実した内容となった。 ・地元の小中学校の運動会や学校行事への参加、地域行事やお年寄りの健康教室などに出向き、交流の場をもつことで、自分自身のルーツや地域を学べた。 ・歴史的城跡、沖縄のエイサー、大綱挽きや産業祭りなどの見学を行い、文化・芸能、産業について広く学ぶ事ができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	研修生へのアンケート数値:80以上	目標	()	()	()	(80%以上)	()
		実績				90%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・研修後のアンケートにより「ルーツをたどることができた」「日本語がレベルアップしたことを、研修の終始で分ってもらえた」「ウチナー口を話せるようになった」その他三線や古武道についても、積極的に取り組み、地元に戻っても継続したいとの意欲的な意見があった。 						

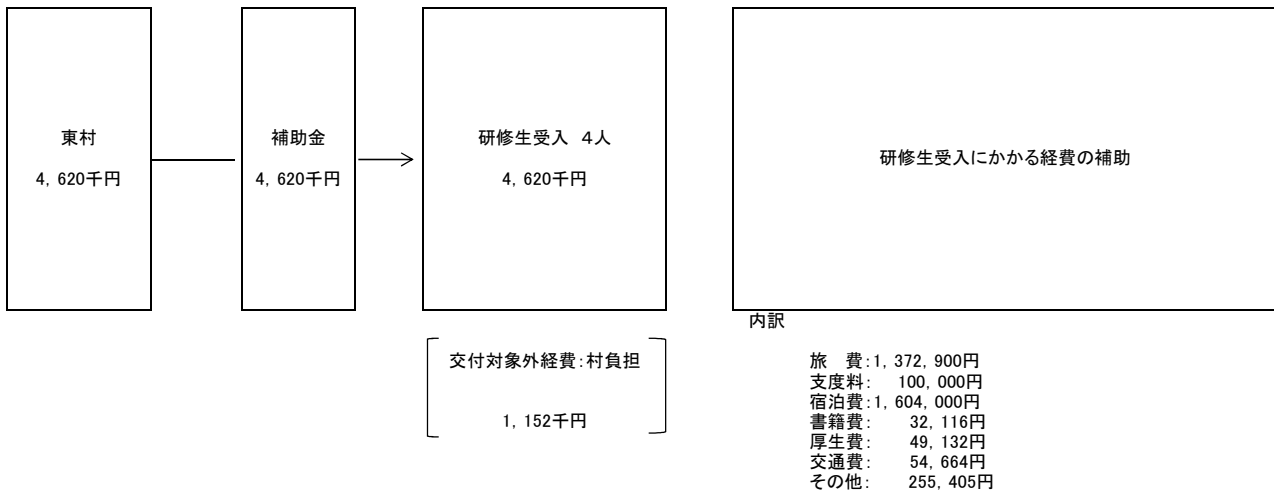
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 日本語研修の時間数増、日本語能力試験の受験により、沖縄の文化や歴史の理解、地元住民とのコミュニケーションに効果的であり、交流していく中で自身のルーツを辿れたことが目標達成につながった。 コミュニケーション能力向上のため、さらなる研修時間増を図りたいが、時間的制約がある。 東村住民と南米研修生との継続的な交流を望む声もあるが、地理的制約がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修終了後の、移住先国と本村の情報発信を行う事で、さらに絆が深まり、次回の研修生への魅力になり継続的な活動に繋がる。 日本語研修と交流との時間的バランスを考慮し、研修時間の効率化と交流の充実化が必要である。 SNSを活用するなど、地理的制約を受けない、継続的な交流方法の検討が必要。

今後の取り組み方針

- ・沖縄の文化や歴史への理解、自身のルーツを知ることができるよう日本語研修時間の効率化や交流の充実化を図る。
- ・東村住民と南米研修生との継続的交流に向けて、SNS等を活用し、日常的に交流できる仕組みを提供する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,620	3,468	2,774	694	1,152



資金の流し、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、点検、評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	・実施要綱に基づく現地村人会からの研修生の推薦を受け、取組んでいるため妥当と考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・経費の一部が交付対象外であったが、研修生受入先がボランティアで受入れてくれた為約20.9%の減となった
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・補助金交付要綱に則り交付を実施したため適正と考える
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・適切な費目からの支出、研修生の取組に必要な数量で実施できた。